

議会だより

かつうら



No. 74

2016. 4. 30発行

ちよぞっ娘

勝浦病院基本構想など ——— ②▶③

(かつうら創生新事業)

全国表彰 勝浦町議会 ——— ④

防災・減災対策の強化を ——— ⑦▶⑮

(一般質問)

若い力で! (ヤングファーマー) ——— ⑮

かつうら創生

新事業スタート



勝浦病院 改築に向け
基本構想策定



町独自の新規就農者
を支援



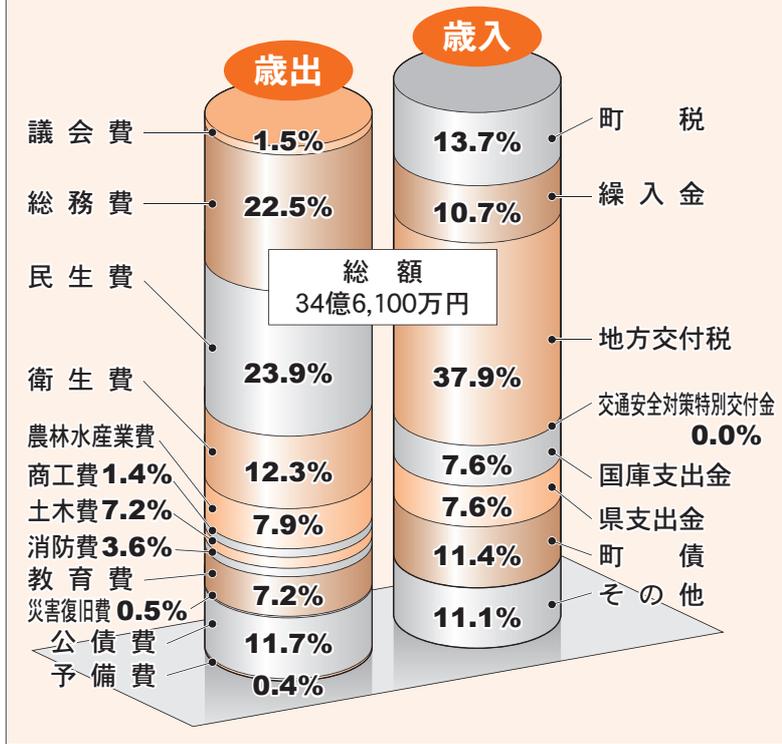
ミカン収穫
お助け隊



新築住宅に一戸あたり
100万円

28年度 主な事業

一般会計当初予算の歳入・歳出構成比



ひな会議は3月8日開会。
 27年度補正予算20億63万円など
 9議案を可決し、22日から一般質問、
 24日に28年度予算34億6100万円
 など22議案を可決した。

特別会計予算

国民健康保険	9億3140万円
介護保険	8億6572万円
勝浦病院	6億399万円
後期高齢者医療	8509万円
簡易水道	4億1000万円
農業集落排水事業	3271万円
物産販売(道の駅)	1989万円
住宅新築資金等貸付	99万円

特別会計とは

一般会計とは別に、それぞれの目的を持って事業を行う会計である。



阿南方面への
通学バス運行



救急搬送車に救急
救命士が同乗 (H29~)



お泊りデイサービス
への支援



イメージ図

沼江子育て交流支援
センター改築

議案に対する質疑

副町長人事案

大西議員

「副町長を県から呼ぶのではなく、内部からの昇格を検討するべきではないか。」との町民の声がある。

中田町長

19年度から県との交流人事で4人に来てもらった。今回も調整役、パイプ役として大きな役割を担ってもらいたい。

28年度一般会計 当初予算

美馬議員

28年4月1日から「障がい者差別解消法」がスタートする。

発達障害について、学べる機会をつくるべきでないか。

大西福祉課長

住民と共に、職員も学ぶ機会を作っていく。

節議員

勝中創立50周年記念事業費250万円の内容は。

河野教育委員会事務局長

記念誌を500部作成し、関係先へ配布する予定で、式典などは予定していないが、学校行事の中で盛り上げていきたい。

松田議員

県は28年度から第3子、一人親家庭等の学童保育料を無料化する。

勝浦町も実施するのか。

大西福祉課長

「たけのこ」「ちゃん」の調整が必要である。条件整備ができ次第実施したい。



リフォームでもっと空き家活用を

井出議員

空き家リフォーム支援は移住者だけでなく、町在住者のためにも必要ではないか。

伊丹参事

27年度は移住者対応だったが、状況により在住者のための支援も可能だ。

国民健康保険 特別会計

美馬議員

特定健診無料化の根拠は。

松本税務課長

健診を定着させ早期発見、医療費の抑制につなげていくため。

また、勝浦病院をかかりつけ医にしてもらうよう広報等で周知していく。

勝浦病院特別会計

美馬議員

経営悪化状況に対し、患者数の目標値を提示したが、行動指針はあるのか。

山田病院事務局長

行動指針はないが、職員が共通理解をし、いろいろな方法を考えていく。また、勝浦病院をかかりつけ医にしてもらうよう広報等で周知していく。

議会改革が評価され 全国表彰

勝浦町議会は、通年議会をはじめ先進的な取り組みが評価され、全国町村議会と徳島県町村議会から表彰されました。

大西議員と井出議員は 永年勤続表彰を受賞

大西一司議員は議長在職4年と議員在職11年、井出美智子議員は議員在職11年で県町村議長会表彰を受賞しました。



井出美智子議員



大西一司議員

副町長に

やぶした たけふみ 藪下武史氏(51歳) 就任

福田輝記副町長の退任により、副町長の選任が提案され全会一致で同意しました。



12月会議

個人番号の利用等に関する条例など4議案を審議。

国保会計 赤字見込み

国保特別会計補正予算
想定以上の高額な支払いが続いたため、一般会計から8300万円繰入れ。

町民の声に対する質問

井出議員

入院時の付き添い人を派遣する制度はできないか。

答 大西福祉課長

地域安心サポート事業で対応できるので利用をしてほしい。

新たな 教育委員会委員

教育委員会委員の任命に同意しました。



石木素子氏

1月会議

補正予算の主なもの

役場、福祉センターの耐震改修工事変更

2千6百万円

個人番号カード交付事業費補助金

950万円

星谷地区農道補修

340万円

議案に対する質疑

大西議員

庁舎改修工事で、当初計画から内容の変わったものは。

答 伊丹参事

古くなった玄関の門扉、壁の内側補修工事などである。

節議員

18、19歳の新有権者の人数は。
また、町としての啓発活動は。

答 笹山住民課長

84人で、広報等を通じて啓発していきたい。

2月会議

補正予算や条例改正などを審議。

棚野地区に備蓄倉庫設置

200万円

その他4条例の改正

町民の声に対する質問

井出議員

税金の申告資料が配布されているが、減価償却

を経費に入れていないのはなぜか。

答 松本税務課長

資料は、申告時間の短縮のために配布している。減価償却は難しいため、申告会場で説明していた。今後は、資料に減価償却も入れる。



広くなり安全になった出入口

町民の声に対する質問

国勢調査速報値

462人減少

節議員

国勢調査速報値と町広報との数値の違いは。
また、5年前より462人減少しているが交付税への影響はないのか。

答 笹山住民課長

町広報は住民票によるもので、国勢調査は実際の居住者で記載されるため違ってくる。

答 伊丹参事

交付税への影響はあまりない。



地区にあった備蓄品の充実を

町の課題に切り込む!

一般質問

議員が町の執行部に対して、様々な角度から町政について質問すること

質問議員	質問事項	ページ
松下一一	1、防災・減災対策、堆積土砂の撤去は 2、農業振興策の強化を 3、町営住宅の払い下げは	7
美馬友子	1、勝浦病院、老朽化対策は 2、女性のがん対策を 3、男女共同参画、基本計画の推進を	8
仙才守	1、ケーブルテレビ更改工事、検証が必要では 2、ケーブルテレビ料金、見直すべきでは	9
麻植秀樹	1、定住対策、空き家バンクの活用を 2、教育環境の充実に、ICTの活用を 3、学校園地の活用は	10
松田貴志	1、県道徳島上那賀線、棚野地区、狭隘部解消への取り組みは 2、勝浦みかん、ブランド化とは 3、新産業の創出を 4、農業町単独補助事業、費用対効果の検証を	11
森本守	1、町民文化祭、県展入賞作品の展覧を 2、国保の保健予防活動、内容と効果は 3、微生物などの利用を 4、町営住宅、適正に利用されているか	12
井出美智子	1、今山谷川、土砂の撤去を 2、国保税の引き下げを 3、ごみ袋の値下げを 4、ケーブルテレビ、インターネットを使用しない世帯の利用料の軽減を	13
節公一	1、阿南方面への通学は 2、宅地造成事業 3、ケーブルテレビ、IRU契約の内容は	14
大西一司	1、小松島西勝浦校に学校給食を提供できないか 2、ふるさと納税増収を 3、勝中のクラブ活動、上勝中との合同活動への取り組みは 4、勝浦川堆積土砂の撤去を	15

会議予定日 5月17日 6月21日 7月12日・25日~27日

小山美江子(星谷)
坪井なつき(中山)
畠田光男(坂本)
三木晃代(横瀬)
白草千鶴(生名)

米川恭平(棚野)
山畑富志廣(今山)
北山靖(石原)
真木千晴(山田)
武田博之(与川内)

28年度新モニター決定(敬称略順不同)

モニター7名が出席
● 議会の生の声を放映してほしい
● パズルとか、遊び心があるものに
● 写真が多いとわかりやすい
● 場所がわかりにくいので簡単な地図を
● 議会がいつ開かれて
いるのかわからない
もっと周知して欲しい
様々な意見が出されま
した



広報モニター
意見交流会

3月29日
開催



松下一一 議員

防災・減災対策

堆積土砂の撤去は

3月末に完了予定（建設課長）



土砂の撤去で流れをスムーズに

問 掛谷、沼江谷川に堆積している土砂の撤去予定は。

答 柳沢建設課長
両谷川とも3月末に完了する予定である。

問 震災を想定した瓦礫の置き場所は確保できているのか。

答 伊丹参事
瓦礫の処理や保管場所について、あらかじめ検討しておくことが生活再

建には必要である。
28年度に災害廃棄物処理計画を策定する。

問 消火器の更新や防火水槽の用地確保に補助制度はないのか。

答 伊丹参事
消火器は個人負担で、防火水槽の用地は各地区で用意するのが慣例となっている。

問 大規模災害で被害が同時多発した場合、消防団員の優先順位の判断基準は。

答 伊丹参事
大規模災害時は、災害対策本部が情報を分析し、各分団の活動の優先順位を決める。

農業振興策の強化を

今後の運用は議会と協議し検討していく。

問 鳥獣被害対策補助金の増額はできないか。

答 野上産業交流課長
材料費を20万円から30万円に引き上げる検討をするが、人件費の補助は難しい。

問 深刻な水不足が起きた場合、圃場整備組合に対し、畑総事業の水を供給してもらえないか。

答 野上産業交流課長
組合の方針が決まれば、町としても土地改良区と協議して水を利用できるように進める。

問 畜産団地の老朽化が進んでいるが、今後の方針は。

答 野上産業交流課長
施設利用については事業者と相談するが、更新は難しい。

町営住宅の払い下げは

答 野上産業交流課長
建設会社やリース会社を利用する場合、経費について補助金を支給できる。

問 町営住宅の老朽化が進んでいるが、改築や払い下げの計画はあるのか。

答 笹山住民課長
住宅長寿命化計画に基づいて対策を施していくが、建て替えや払い下げの計画はない。

老朽化対策は

改築の方向で計画を進める（病院事務局長）



美馬友子 議員

問 療養環境の整備や安全な医療の提供のために、老朽化対策をどのように進めていくのか。

答 山田病院事務局長 改修では機能向上は難しく、工事期間も長くなるため、移転改築の方向で今後計画を進めていく。

問 新病院の計画は。

答 中田町長 4月から新たに設置する地方創生推進室において、改築に向けた基本構想の策定を行う。町民の声も聞きながら進めていきたい。

女性の がん対策を

問 早期発見、早期治療が大事。検診の必要性をしっかりとPRすべきでは。

答 大西福祉課長 発生率が高まっている若年層の検診に対する意識が低い。

今後、若い女性を利用する施設等にポスターを掲示していく。

問 乳がんは30歳から60歳代の働き盛りの女性がかかるトップのがんである。

40歳から行っている乳

がん検診を早期発見のために、30歳から始められないか。

答 大西福祉課長 国の指針があり、町独自で年齢を引き下げるとは難しい。

問 約半数が自分で異変を見つけている。乳がんの自己検診の方法をPRするべきでは。



自己チェックで早期発見を！



答 大西福祉課長 情報提供は可能な限り行っていく。女性用トイレにリーフレットを張るなどして取り組みたい。

こんな遅い対応で良いのか。

答 福田副町長 住民の意識の変革は、町が一生涯命取り組むことから始まる。

今後とも広報などで積極的に男女共同参画社会を訴えていく。

問 農業委員への女性の登用は進んでいるのか。

答 野上産業交流課長 女性がいないのは、県下では勝浦町も含め9市町村。女性の農業委員は15市町村で31人。

答 中田町長 制度改正により任命制になるので、積極的に登用していきたい。

男女共同参画 基本計画の 推進を

問 男女共同参画基本計画が27年3月に作成されたが、その後の取り組みは。

答 笹山住民課長 町の広報を通じ周知している。冊子は策定委員と役場の各課に配布。人権講話の際に希望者に持ち帰ってもらった。

問 この計画は誰のために作られたのか。3月にでき12月の広報に掲載された。

ケーブルテレビ更改工事

検証が必要では

機会を設けたい (伊丹参事)

問 昨年7月の若あゆ会議で「テレビの4K/8K放送に対応できる新方式(PON方式)を採用した」との説明があったが事実か。

答 伊丹参事
既設の設備に合う機器を調達するため型番を指定した。同等以上の製品も可とした。

答 伊丹参事
放送(テレビ)では新方式は採用していない。センター設備は更改せず、各家庭に設置した光電変換装置を交換することにより4K放送に対応した。

問 ほぼ満額で落札されている。競争原理は働かなかったのではないか。予算額(約4億円)は適正だったのか。提案や見積は何社から取ったのか。

答 伊丹参事
3社から提案・見積があった。

問 入札仕様書で主要機器が特定メーカーの型番指定されている。何故か。入札の競争性が損なわれたのではないか。

答 伊丹参事
18年に稼動し、10年が

経過した。
また、修理用の保守部品がなくなってきたため、更改工事を行った。

問 保守報告書を分析し、更改の要否を判断すべきだった。

答 伊丹参事
今後の参考とするため、更改工事の内容を検証してほしい。

ケーブルテレビ料金

見直すべきでは

問 以前はSTB(楽ビジョン)があったので、どの家庭でもテレビでインターネットが閲覧できた。

その条件で料金が決まっていた。
今回はSTBを取り除いたため、パソコン等の情報機器がない家庭ではインターネットが閲覧できなくなっている。
インターネットを希望しない加入者には、接続業者に支払う料金(プロバイダ料)相当額を減額すべきではないか。

答 伊丹参事

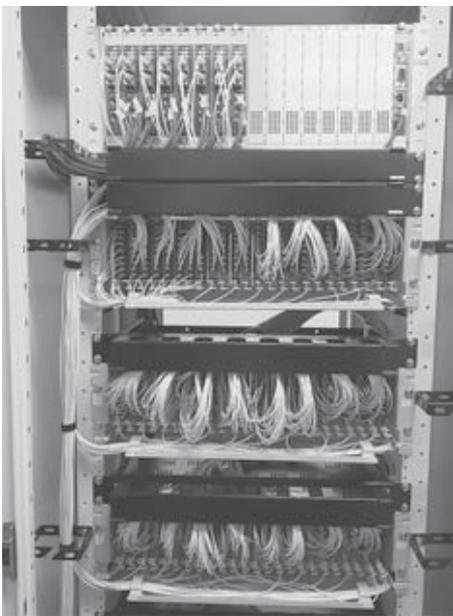
テレビとインターネット一体ということで安価な料金が提供できている。また、プロバイダ料金を含めた形で契約をしている。解約するのであれば違約金が発生する恐れがある。

その他の質問

○ 救急救命業務委託の前倒し実施について



仙才 守 議員



新しくなったセンター装置



麻植秀樹 議員

定住対策

空き家バンクの活用を

登録可能な空き家は12戸（産業交流課長）



調査した22戸の空き家

問 町内には相当数の空き家がある。定住対策に空き家の活用をすれば良いと思うが、空き家バンクの状況はどうなっているのか。

答 野上産業交流課長 21年度の調査では、空き家は130戸余りあつ

た。昨年、中山間の集落協定等を利用し調べた結果22戸の報告があつた。建築士会の調査の結果、バンクに登録可能な空き家は12戸で、利用したいとの申し込みは、これまでのところ9家族である。

問 現在、改修費用の補助は上限100万円であるが、この補助額で改修が進むと考えているのか。

答 野上産業交流課長 水回りの改修は多額の費用がかかる。自分で改修を行えば200万円、業者に頼めば400万円かかった例がある。

問 今後の定住促進を考えると、改修補助の上限額をもっと引き上げるべきではないか。

答 野上産業交流課長 県下の実施市町村と比較しても本町はトップクラスの補助額である。27年度より始めた事業であることから、現在の金額を維持したいと考えている。

教育環境の充実に ICTの活用を

問 他町村と比較して、学校現場のICT化は進んでいるのか。

答 河野教育委員会事務局長 パソコンや電子黒板、教科書に準拠した指導用教材、デジタル教科書等の整備は進んでいる。小・中学校の整備率は県下でも上位にランクされている。

問 最先端のICTの活用で学力向上を図るべきではないか。

答 河野教育委員会事務局長 ICT化の効果だけでは判断できないが、学力調査では、小学校も中学

校も総合的に平均より上である。

学校園地の活用は

問 生比奈小学校の学校園地が活用されていない。関係者と協議したのか。

答 河野教育委員会事務局長 学校やPTAは4月から新体制になるので、十分意見を聞く。



松田貴志 議員

県道徳島上那賀線

棚野地区、狭隘部^{きょうあい}解消への取り組みは一刻も早く改良されるよう努力する（町長）

問 全線二車線化に向け改良工事が進められているが、残る区間の進捗状況は。

また、棚野地区狭隘部^{きょうあい}改良に向けた町の姿勢と今後の取り組みは。

答 柳沢建設課長

27年度に生比奈小学校西側300mが完了した。今後は東側300mの歩道整備計画があり、作業を進めている。詳細設計が完了次第、用地交渉を進めると聞いている。

答 中田町長

棚野地区の狭隘部^{きょうあい}解消は、最重要箇所として要望してきた。一刻も早く改良がされるよう引き続き努力する。

勝浦みかん

ブランド化とは

問 勝浦みかんの「ブランド化」とは。また、ブランド化に終わりはあるのか。

答 野上産業交流課長

統一した栽培方法や貯蔵方法で高品質のミカンを生産していく。他の産地と差別化を図り知名度を高めることがブランド化につながる。また、23年度からブランド化に取り組んでいるが、統一段階の利用率向上等、総合計画の期間10年で一定の成果を上げたい。

新産業の創出を

問 地域経済を活性化し、雇用を生み出すためには新たな産業づくりが必要と考える。今後の展望は。

答 野上産業交流課長
27年度より商工会を中心にみかんペーストを使った加工品の開発を進めている。28年度は6次産業化に向け、テレビ等で活躍している講師を招き、料理教室を10回程度開催する予定である。



みかんペーストを使ったお菓子

農業町単独補助事業費用対効果の検証を

問 町単独補助金等の実績、費用対効果の検証は随時行われているのか。

答 野上産業交流課長

農業者の要望を聞く中で、利用頻度の低い事業の廃止など効率的な運用に努めている。今後は利用後の状況を聞き取り、メニュー作りで反映させる仕組みづくりが必要と考えている。

答 中田町長

費用対効果の検証は当然のこと、引き続き勝浦農業発展のため効果が上がるよう取り組んでいく。

その他の質問

- 消防体制の充実強化を
- スポーツ行政の推進を
- 移住促進への取り組み



森本 守 議員

町民文化祭

県展入賞作品の出展を

受賞者と交渉をする (教育長)

問 県展、こども県展で町内入賞者がいる。町民文化祭にこれらの作品の展示コーナーを設けてはどうか。

答 椎野教育長
提案を受け、文化協会長の賛同を得た。受賞者と出展交渉をし、文化祭を盛り上げたい。

国保の保健予防活動 内容と効果は

問 保健予防の補助金をKーフレンズに出しているが、金額と内容、効果は。

答 松本税務課長
金額は30万円。内容は健康アップ、ストレッチ&ヨガ、体感トレーニング教室、フィットネス事業の開催などである。生活習慣病に効果がある。



健康教室で生活習慣病予防を

微生物などの 利用を

問 微生物やキトサンを利用して土壌改良し、農業収益を上げてはどうか。また、汚水の浄化やごみ処理をしてはどうか。

答 野上産業交流課長
勝浦農業に有効な栽培

方法であれば、講習や研修によって取り上げる。

答 笹山住民課長
環境に優しく経費もかからないのであれば有効な手段だと思う。現在の処理方法との費用対効果を見ながら考えていきたい。

町営住宅

適正に利用
されているか

問 町営住宅を物置代わりになっている入居者はいないのか。

答 笹山住民課長
長期の入院や県外での仕事のため家を空けている人はいるが、物置代わりに使っている入居者はいない。

町立病院

今後の
維持補修は

問 病院は改築の方向で検討すると発表された。今後、維持補修はどうなるのか。

答 山田病院事務局長
必要最小限の修繕とす
るが、患者に不快感を与えないよう留意する。

農地の 廃園対策は

問 後継者不足や不採算などから廃園にする人が増えている。対策は。

答 野上産業交流課長
農地中間管理機構や町の補助金があるので、廃園にする前に相談して欲しい。

東部広域農道の 進捗は

問 中山工区の進捗状況は。
また、舗装はいつ頃完成し通行可能になるのか。

答 柳沢建設課長
4月から舗装にかかり、8月頃完成し通行できる予定である。

その他の質問

- 中山間地域等直接支払制度について
- 県道新浜勝浦線について

土砂の撤去を

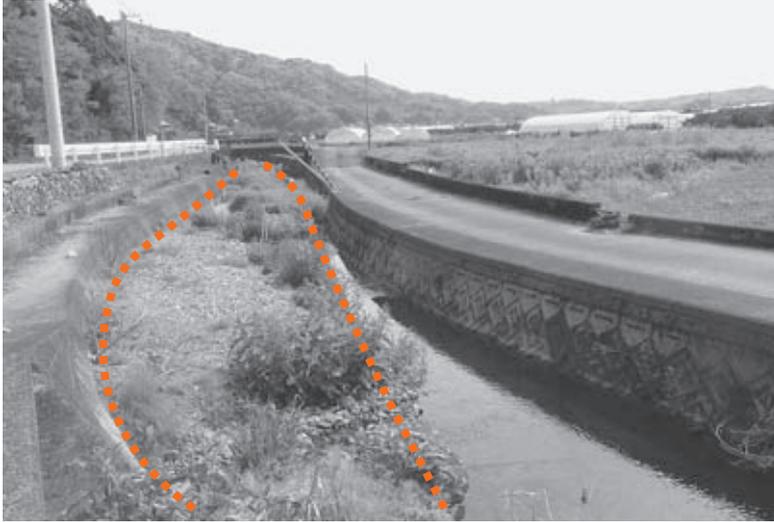
解決していく(町長)

問 掛谷、久国谷川は土砂の撤去が進んでいる。同様の要望が各地区であるが、土捨て場がなく困っている。

答 中田町長
特に今山谷川の撤去が急がれているが、対応は掛谷、久国谷川は県の



井出美智子 議員



土砂撤去で被害の軽減を

管理であり、度重なる県への要望が実り可能になった。

今山谷川は準用河川で町の管理である。毎年、要望を聞いており、地元土捨て場提供が基本であるが、解決に向けて全力で取り組む。

字が続いている。特に今年度は高額な医療費の支払いが続いているため、引き下げは困難である。

国保税の引き下げを

問 石井町が国保税を引き下げた。3507世帯、基金が2億1千万円しかないのに実現した。820世帯の勝浦町は基金が1億円もある。財政状況を考えると引き下げができるのでしょうか。

答 松本税務課長
国保会計は、単年度赤

問 国庫支出金が50%から25%に引き下げられたため、住民の負担が大きくなった。町長は国に対して国庫支出金を増額するように意見表明したことがあるのか。

答 中田町長
全国町村会として、国に要望している。

ごみ袋の値下げを

問 小松島市は指定ごみ袋を2割値下げした。勝浦町もできないか。

答 笹山住民課長
2割値下げの試算をしたが、わずかの利益しか残らず、消費税増税を考えると難しい。

問 袋に広告を印刷して掲載料を得ることはできないか。

答 笹山住民課長
広告印刷に4万円必要。町内の協力業者は見つけにくいと思われる。

ケーブルテレビ インターネットを 利用料の軽減を

問 契約の更新が、利用料の見直しの絶好の機会である。

これまで繰り返しインターネットを使用しない世帯の利用料の軽減を願う町民の声を伝えてきたが、どうして実現できないのか。

答 伊丹参事
インターネットとIP電話、テレビのセット料金が一番有利と考えている。



議員 公一 節

阿南方面への通学は 当面はタクシーで（教育委員会事務局長）



楽になった通学

問 阿南方面への通学手段として、新学期より保護者会が運営主体となり、町有の公用車で運行することになっているが、法的な問題はないのか。

答 河野教育委員会事務局長
公用車を利用し、町が補助金を出すと有償運行

問 陸運局の登録に時間がかかるので、当面はタクシー会社に委託する。

答 河野教育委員会事務局長
乗り場所は町内5カ所

問 乗場場所や料金の決め方は。

答 河野教育委員会事務局長
乗場場所は町内5カ所

問 今後のスケジュールは。

答 柳沢建設課長
7月までに用地買収を行い、11月までに造成の予定である。

問 今後の10年間はサードピスの内容や料金設定の変更はできないのか。

答 伊丹参事
双方の合意がないと変更できないが、契約期間については5年か10年間とするか検討している。

宅造成事業

問 新年度予算で横瀬地区に宅地を造成し販売する計画がされている。

答 椎野教育長
法的な対応は委託先となるが、同義的な責任は教育委員会にもある。

その他の質問

問 町長の所信表明では、町外からの移住者を対象にするところがあるが、人口減少抑制の定住対策としては移住者に限定しないほうが良いのではないのか。

答 中田町長
町外者に限定せず広く応募を受け、応募者多数の場合は優先順位をつ

ケーブルテレビ IRU契約の内容は

問 4月からケーブルテレビの運用会社が変わるが、以前と比べてどのようなメリットがあるのか。

答 伊丹参事
移転や撤去の費用が無

※IRU契約は通信回線などの賃貸契約の一つで、破棄には双方の合意が必要。

○町財政の展望と課題

小松島西勝浦校に

学校給食を提供できないか

学校側と協議をしたい（町長）

問 小松島西勝浦校は、地域に根差した学校として町民と共に歩み、存続の危機に直面した時は、町を挙げ一体となって守ってきた。

地産地消の学校給食を提供することにより、存在意義が高まり町の活性化にもつながるのではないかと。

答 椎野教育長
配送や配膳などの課題はあるが不可能な話ではない。

答 中田町長
課題は多くあるが、学校側との協議がまとまれば実現可能と考えている。今後、学校側と十分協議しながら方向性を定めていきたい。

ふるさと納税 増収を

問 26年度の全国ふるさと納税額は142億円。

宮崎県の綾町は、一般会計51億円であるが、9億4000万円ものふるさと納税があり、大変な恩恵を受けている。

答 伊丹参事
本町でも返礼品のメニューを工夫し、増額を図っては。

26年度から3000円相当の特産品を返礼として以降、ふるさと納税は増額傾向だ。
今後、特産品の内容を十分検討する中で、寄付金収入が増えるよう取り組みを進めたい。

勝中のクラブ活動

上勝中との 合同活動への 取り組みは

問 昨年のみかん会議で提案した上勝中との合同のクラブ活動についての協議状況は。

答 椎野教育長
提案を受け、郡内の教育長会、校長会で協議した。
上勝町では生徒の希望を募り、勝中にある種目であれば顧問を構え、合同でのクラブ活動が可能となるよう対応している。と聞いている。



活気がデタ！
合同練習



勝浦川堆積 土砂の撤去を

問 勝浦川の堆積土砂が本沼江谷川、掛谷川、生名谷川などの吐き出しを悪くしている。

このためバックウオーター現象を起し浸水が恒常的になっている。対応を急げ。

答 福田副町長
勝浦川上流にダムがあり、上流からの土砂の流下がないので土砂撤去には慎重にならざるを得ない。県も堆砂対策に本腰を入れ始めており、本町としても実情を訴えていきたい。

その他の質問

- 県道改良工事について
- 沼江パイパスのアクセスについて
- 農業振興について
- 町宅地造成について



大西一司 議員



勝浦農業の宝

ヤングファーマーを紹介♪

- ① 就農しようと考えたきっかけは
- ② 今後の展望は
- ③ 農業を志す若者にエールを

岡田卓也さん (32歳) 星谷



市場から高い評価のブランド「岡田さんちのいちご」を両親と30アール栽培。



- ① 親がいちごを作っていたから、自然と後を継ごうと思った。
- ② 後継者として、しっかりと親の経営を引き継いでいきたい
- ③ 勝浦の農業の未来をいちごで支えていくので、応援をよろしく。



- ① 担い手不足の現状を知り興味を持ち、新規就農給付金制度があったのでチャレンジしようと思った。
- ② 1年間通して安定した収入が得られるように、まず主要作物の選定を行い、効率的な高付加価値をめざした農業経営に向け、こだわりを持って取り組みたい。
- ③ 自然が相手なので思うようにいかない事もあるが、その自然からの恩恵によって育まれる農業なので、無限大のやりがいを感じる。おもしろいじょ♪



みかん45アール、
水稲40アールの他に
72アールの農地を借
り受け、にんじん、
スイートコーンなど
を栽培している。

大上威尚さん (40歳) 掛谷

満開の桜の下で

表紙写真

こすもす保育園



救出を急げ!!

甚大な被害をもたらした熊本地震は、南海トラフ巨大地震への対策を講じてきた勝浦町においても、様々な課題を浮き彫りにした。多くの犠牲者をもたらした家屋倒壊への備えとしては、「耐震診断、改修」「耐震シエルター設置」補助事業のさらなる推進、また、BCP（業務継続計画）を策定し、災害時対応を想定した業務体制づくりが急務ではないか。

「備えあれば憂いなし」
持ち家の耐震性、食糧備蓄、避難計画等、自らができる対策を今一度確認、実践を。

(貴志)

編集後記

